

別表第3

鉄筋コンクリート造の建物の耐力度調査票

予備調査者 株式会社 小林建築事務所  
一級建築士登録番号 第 号

I 調査学校		都道府県名	設置者名	学校名	学校調査番号	調査期間	平成29年8月17日 ~ 平成29年9月3日		IV 学校種別	V 整理番号	
II 調査建物		神奈川県	松田町	松田小学校	2001	調査者	職名	一級建築士登録番号	氏名	小学校	1891
		校舎	①-2	3	面積 一階面積 延べ面積	建物の経過年数 建築年 経過年数	被災歴 状況 被災年		補修歴 内容 補修年		III 結果点数
					494 m <sup>2</sup> 1,360 m <sup>2</sup>	昭和48年 44年	なし		大規模改修 平成元年		① 構造耐力 96点 ② 保存度 56点 ③ 外力条件 0.93点
											耐力度 (A) × (B) × (C) 5000点

構造耐力	① (a) 水平耐力 q	階	方向	垂直部材耐力 Q <sub>0</sub>	建物重量 W	層剪断力分布係数 A <sub>i</sub>	方向別水平耐力 Q <sub>0</sub> /Wi-A <sub>i</sub>	判別式	評点	評点合計	
		1	桁行 X	20975.8	17641.3	1.000	1.19	D10-@100 n=1.00	q ≥ 0.75 1.0		⑦ 1.0
			張間 Y	18000.0	17641.3	1.000	1.02	q=1.00 × 1.0 = 1.00	0.75 > q > 0.3 直線補間 q ≤ 0.3 0.3		
		(b) 剛性率 R <sub>s</sub>	階	層間変形角の逆数 r <sub>s</sub>	r <sub>s</sub> の相加平均値 $\bar{r}_s$		R <sub>s</sub> = r <sub>s</sub> /r̄ <sub>s</sub>		R <sub>s</sub> の最小値		判別式
	1		桁行方向 X 張間方向 Y	10749.8 8647.1	10663.4 9737.9	1.01 0.89	0.89	0.89	R <sub>s</sub> ≥ 0.6 1.0 0.6 > R <sub>s</sub> > 0.3 直線補間 R <sub>s</sub> ≤ 0.3 0.7	1.0	
	(c) 偏心率 R <sub>e</sub>	階	偏心距離 e	弾力半径 r <sub>e</sub>		R <sub>e</sub> = e/r <sub>e</sub>		R <sub>e</sub> の最大値	判別式	評点	
		1	桁行方向 X 張間方向 Y	2.500 1.571	14.178 15.808	0.176 0.099	0.18	0.18	R <sub>e</sub> ≤ 0.15 1.0 0.15 < R <sub>e</sub> < 0.3 直線補間 R <sub>e</sub> ≥ 0.3 0.7	0.94	
	(d) (*) コンクリート圧縮強度 k	試験区分	(壁)梁 1	(壁)梁 2	(壁)梁 3	(壁)梁 4	平均値 F <sub>c</sub>	k = F <sub>c</sub> /20	判別式	評点	
		コア試験	20.2	27.9	27.5	25.2	25.2	1.26	k ≥ 1.0 1.0 1.0 > k > 0.5 直線補間 k ≤ 0.5 0.5	1.0	
	② 層間変形角 θ	階	層間変位 δ	階高 h		θ = δ/h		θの最大値	判別式	評点	
1		桁行方向 X 張間方向 Y	0.034 0.042	361.3 361.3	1/10750 1/8647	1/8647	1/8647	θ ≤ 1/200 1.0 1/200 < θ < 1/120 直線補間 θ ≥ 1/120 0.5	1.0		
③ 基礎構造 β	種別指数 u	形状寸法	鉛直荷重 P	支持力 R <sub>a</sub>	耐力指数 β		判別式	評点			
	木杭 0.8	RC杭 2-300φ	662.5	696	0.95		β ≥ 1.0 1.0 1.0 > β > 0.5 直線補間 β ≤ 0.5 0.5	0.95			
	RC杭 ①.9	L=3.0m									
④ 構造使用材料	粗骨材 (砂利)		細骨材 (砂)		評価		評点				
	川(山)砂利 ①.0	塩分を含んだ砂利 0.9	軽石 0.8	川(山)砂 ①.0	塩分を含んだ砂 0.9	軽石 0.8	(1.0)+(1.0)/2	1.0	20.0点		

保存度	① 経過年数 t	経過年数(残存率)	44	判別式		T = (47-t)/47 = (47-44)/47 = 0.06	評点	⑦ 0.06	①(⑦×30) 1.8点	
		② コンクリート中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ	部位	柱1(柱脚)	梁1	柱2(柱頭)	W4	平均値 a	判別式	評点
	鉄筋かぶり厚さ b	部位	柱頭	柱脚	梁1	梁2	平均値 b	判別式	評点	
		かぶり厚さ	8.2	8.8	3.1	5.5	6.40	b ≥ 3cm 1.0 3cm > b > 1.5cm 直線補間 b ≤ 1.5cm 0.5	1.0	10.0点
	③ 鉄筋腐食度 F	部位	柱	梁		グレード平均値 F		評点		
		状況	部分的に点食を認める。	部分的に点食を認める。		F = (0.8+0.8)/2 = 0.80		0.8	②(⑧×15) 12.0点	
④ 不同沈下 φ	階	相対沈下量 ε	スパン L		φ = ε/L		φの最大値	判別式	評点	
	3	桁行方向 X 張間方向 Y	6.0 5.0	3200.0 8000.0	1/533 1/1600	1/533	1/533	φ ≤ 1/500 1.0 1/500 < φ < 1/200 直線補間 φ ≥ 1/200 0.5	1.0	
⑤ ひび割れ C	部位	柱	梁		壁		床		グレード平均値 C	評点
	状況	1.0mm未満のクラックが部分的に認められる。	1.0mm未満のクラックが部分的に認められる。	1.0mm未満のクラックが部分的に認められる。	ひび割れはほとんど認められない	C = (0.5+0.5+0.5+1.0)/4 = 0.63		0.63	⑤(⑨×15) 9.5点	
⑥ 火災による疲弊度 S	程度	構造体変質	非構造材全焼	非構造材半焼	煙害程度	当該階の床面積	被災率 S = st/s0	判別式	評点	
	被災床面積評価後被災面積 st	s1 0 s2 0 s3 0 s4 0	0		0	S = 0	S = 0 1.0 0 < S < 1 直線補間 S = 1 0.5	1.0	1.0点	

外力条件	① 地震地域係数	② 地盤種別	③ 積雪寒冷地域	④ 海岸からの距離	評価	評点
	四種地域 1.0	一種地域 1.0	その他地域 ①.0	海岸から8kmを超える ①.0	C = (①+②+③+④)/4	
	三種地域 0.9	二種地域 ①.9	二級積雪寒冷地域 0.9	海岸から8km以内 0.9	0.8+0.9+1.0+1.0	③ 0.93点
	二種地域 0.85	三種地域 0.8	一級積雪寒冷地域 0.8	海岸から5km以内 0.8	4	